

社会的弱者への配慮、より一層の支援を

町長 行政サービスの提供、その充実を図って行きたい



作井 繁樹 議員

総体的貧困率等の状況把握、教育を平等に受けられる機会の提供、高齢者にとって必要とする行政サービスの提供の充実を図って行きたい。

作井 除雪体制の拡充、とりわけ

間口除雪の実施に向けた進捗状況を。

町長 除雪ヘルパー派遣事業の利

用者の中から、戸建て住宅に居住している方々136世帯を対象に調査を進めることとした。

作井 就学支援の拡充、とりわけ

奨学金制度の見直し、改善に向けた進捗状況を。

教育長 人数枠を撤廃し、基準をク

リアした方々全てを給与対象とした。平成27年度の給付額は合計94万8000円、人数枠を撤廃した平成29年度は225万6000円。



作井 現交通体系維持費、年間約

8000万円強の範囲内、且つマンパワー不足も勘案した上で、もっとシンプルで効率的な、全く新たな交通体系の検討が必要では。

町長 町民の不公平感を解消しつ

つ、交通弱者の交通手段を確保するには、これまでの方法ではある意味限界と感じており、現在のシステムにとらわれない新たな交通施策について研究する。

一般質問 作井 繁樹

作井 撤去・解体助成、代執行に

至る前に、家屋や工作物の撤去・解体を促す呼び水の助成制度が必要では。

町長 解決しなければならぬ課題が多くあり、慎重に検討を進めたい。

作井 時限的に区切り、まずは、

危険な建物、放置しておく可能性もあり、周辺に危険を及ぼしかねないものに限って行っては。

町長 本当にやるかどうかという判断だ。精査しながら、前向きに進めたい。

作井

今日の貧困・格差が広がった社会構造を鑑みると、「総体」から不利な立場にある「社会的弱者」への配慮、より一層の支援が求められる。社会構造についての現状認識と、公平と不公平、相反することの両立という難題克服への見解を。

町長

2000年代前後から貧困・格差をめぐる議論が活発化。生活困窮者世帯については、公的な支援や自立できるような支援、



町長 幸福感が得られるものは何かということ、より検討し、この町にいてよかつたなどという環境づくりをぜひ進めたい。

作井

矛盾する分配再分配に対する不満が大きい。結果として幸福感を得られない。再分配の認識は。

